

日本共産党 和歌山市公議員

ひめだ高宏ニユース

No.1234

19.1.29

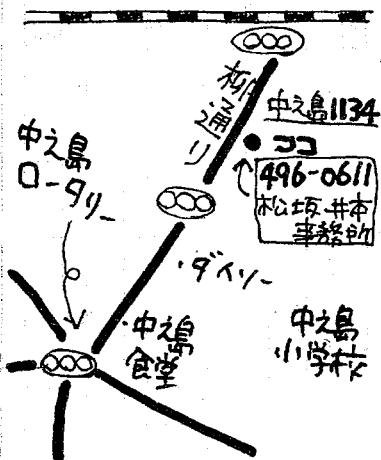
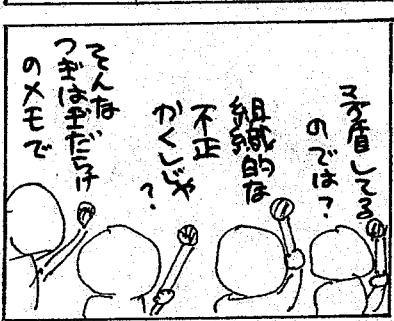
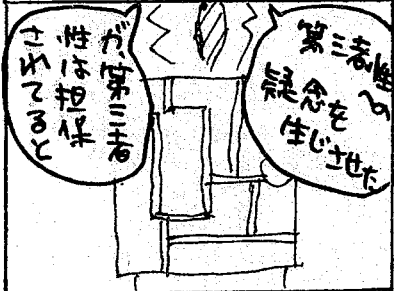
男子駅伝で和歌山9位

1月20日(日)広島市で行われた全国都道府県対抗男子駅伝競争大会で、前年38位の和歌山が大健闘の9位になりました。全豪テニスでは大坂なおみ選手が全米テニスに続き初優勝。ランキング1位に。大相撲はモンゴル出身の玉鷲が初優勝。横綱不在とはいえ、先場所の貴景勝に続き2場所連続で関脇の優勝となりました。どの成績にもビックリ!!です。

松坂みち子事務所オープン

1月23日(水)17時から松坂みち子県議候補と井本ゆういち市議候補の合同事務所開きが行われました。中之島ロータリーの信がからーつ目の信を越えた柳通りの東側の歩道に面した事務所です。サインという名の喫茶店だったので、ボックス席や厨房付です。

フリーの人々



表の手作り看板もなかなかの力作で後援会のみならず磨き上げた床はじかた。カでスエキな事務所です。

藤井健太郎さんの司会で国庫地区委員長代理、地元中ブロックの後さん、東ブロックの宮井さんがあいさつ。森下さち子市議、私、ひめだ、井本ゆういち市議候補、松坂みち子県議候補が決意表明。南ブロックの山本さんの苦頭で「団結が」ビローをこえました。

ひめだ事務所開き2月24日

私、ひめだは前回に続き、塩屋5-6-12の自宅を事務所にします。事務所開きは、2月の最後の日曜日、2月24日(日)午前1時から行います。お誘いありせのうえ、ぜひお越しください。

今週のフリーの人々 (その180)

組織的!第三者委員会 厚生労働省による毎月勤労統計の不正調査問題は、企業の賃金や労働時間把握する統計で、東京府の対象事業所のうち2004年から三分の1程度しか調べず集計後の平均給与額が実際より低く、統計をもとに算出する保険給付の金額が低くなり、雇用保険や労災保険などで延べ2015万人に過小支給が生じたものです。



ひめだ高宏

この不正調査問題について、第三者の特別監察委員会が行ったとされる幹部を各30人の職員に對するヒアリングのウチ方にも外部委員が同席せず定規由美子官房長と職員で行われたことが分かりました。事件発覚当初に第三者委員会が「組織的不正ではない」と言ったのが理解できませんでしたが、国民をバカにしたカンクリだったのです。ぶざけんじゃねーよ!!

11:00~

松坂さんと学習協旗開きに

1月25日(金)夜、県教育会館で学習協の旗開きが行われ、松坂みち子市議(県議候補)と一緒に、ひめだも参加しました。

学習協の正式名称は和歌山県勤労者学習協会です。名称はいろいろですが、単位の組織が全国にあります。和歌山は1965年創立。1977年から事務所を構え専従者を配置。労働学校

や各種講座、月間学習誌「学習の友」の普及や勤労者通信大学などを取り組んでいるとのこと。

会員には毎月「わかやま学習新聞」と「文芸資料」などが配布されるほか、書籍が8%引きで買えます。旗開きはご招待で手作りおでん・サンドイッチや料理盛り合わせ、豪華景品等、奪クイズ大会が恒例です。

松坂みち子は



報道は真実を明らかに
大坂なおみ選手の全豪オープン優勝・世界ランク1位はすばらしい偉業で、愛らしいキャラクターに思わず微笑んでしまいます。しかしその後、

賞金額などの報道が続きました。また、ジャーニズの人気グループ「嵐」が2年後に活動休止するというニュース。一般紙4社とも一面で大きく報道しました。みなさんはどう感じていますか。私には、芸能界などの異常に大きな報道をかく水みの、真実がうやむやにされ



松坂みち子 (県議予定候補)

るのではないかと心配になります。国会も始まりました。国がしてまたこと、しようとしていることをし、かり報道して、国民の前に明らかにして、もらいたいものです。

水道民営化について考えよう

講師：植本信司氏 (自治労連公営企業評議会議長)

場所：あいあいセンター4階「7会議室」和歌山市小人町29



2月2日(土) 16:00~

主催：日本共産党和歌山市会議員団 435-1113

潮流

(19. 1. 29日刊)

ぼくは日本人である前に「人」。本欄でも紹介しましたが、選手が昨年、朝鮮学校を訪れた後のインタビューでこんな言葉を残しています▼「何人であるかを前面に表現するよりも、人としてどうあるべきかを表現することが最も大事なこと」。世界を舞台にしている人には、国境をこえた視点を感じることも多い。国を背負うのではなく、ひとりの人間、個としての能力が試されるからでしょうか▼テニスの全豪オープンで優勝した大坂なおみ選手が世界ランキングで1位になりました。全米につづく四大大会の連覇。他を圧倒するパワーと精神面の成長は「大坂時代の幕明け」と評されるほどです▼彼女が偉業を達成するたびにまことゆりつく形容詞があります。日本人として初、アジア勢初…。しかし、これまで歩みはそんな属性を超越しているかのよう。ハイチ出身の父と日本人の母をもち、生まれは日本ながら3歳で米国に移住。10代でプロになって世界各地を転戦しています▼いま大坂選手の国籍が取りざたされています。現在は日本と米国の二重国籍ですが、法律では今年の誕生日までに選択しなければならぬ。東京五輪を前に周りも騒がしい▼どちらを選びますが、尊重すべきは彼女自身の判断です。もっとも、無視の可能性を秘める2歳はそんな狭い枠にはくまっています。「好きなテニスを楽しんでベストを尽くす」。大坂なおみがどんな頂きに達するか。みづから開いた道のりは始まったばかりです。

は、芸能界などの異常に大きな報道をかく水みの、真実がうやむやにされるのではないかと心配になります。国会も始まりました。国がしてまたこと、しようとしていることをし、かり報道して、国民の前に明らかにして、もらいたいものです。

赤旗 日刊 3,407円/月 日曜・祝日 1,000円/月